

4月15日：VN指数は上昇が一服 (VN-Index -1.10%)

- VN指数は3連騰の後、利益確定の圧力に見舞われ、下落して取引を開始した。
- 売り圧力は全体的に高まったが、いくつかの大型株が下支えし、指数は基準値付近で推移した。
- 取引終了時には売りが加速し、利益確定の動きが活発なことを示唆した。
- 指数は今後、1,210ptの水準を上回って推移すると見込む。
- 145銘柄が上昇、334銘柄が下落、47銘柄が変わらずとなった。
- 流動性は0.2%減の24.1兆ドンとなった。

VN30指数は売り圧力が強まった (VN-30 -1.14%)

- 大型株で構成されるVN30指数は6銘柄が上昇、23銘柄が下落、1銘柄の横ばいを記録した。
- 主に、HPG (+1.97%)、STB (+1.72%)、VIC (+1.29%)、VCB (+1.18%)などが上昇した。
- 一方、GVR (-6.87%)が唯一ストップ安を記録した。

セクター・個別株の動き

- CMG (-4.47%)はランサムウェア攻撃の標的となったことが報じられた。同社はすべての主要システムとサービスに影響はなく、安全かつ安定した運用を続けていると述べた。
- FPT (-2.11%)は、過去最高の売上高75.4兆VND、税引前利益13.4兆VND（それぞれ前年同期比20%増、21%増）を目標とする2025年事業計画を株主に提示した。また、必要であれば、世界情勢に応じて計画を調整する権限を取締役に与えることを提案した。
- 外国人投資家は2,130億ドンを買越し、特にHPG (+1.97%)、MWG (+0.88%)、VCB (+1.18%)への資金流入が目立った。900億ドンを超える資金流出となった銘柄はなかった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Co., Ltd. (JSI)から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。